

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術	音楽Ⅱ	2	選択	文系	2

教科書（発行所）	MOUSA2（教育芸術社）
教科書以外の教材	Music Note（啓隆社）、高校生の歌集「つどい」

目 標	1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 2 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようになる。 3 主体的・協同的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
-----	---	--	--

	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	歌唱表現の工夫  ロマン派～近現代の音楽  楽典  楽器について知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな国の歌唱曲に親しむとともに、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、表現を工夫しながら歌唱をする。</li> <li>ロマン派～近現代（国民楽派を含む）の音楽について、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して鑑賞し、楽曲の文化的・歴史的背景について理解を深める。</li> <li>音程、音階について理解する。</li> <li>発音原理による楽器分類を学び、それぞれ音色や奏法の特徴、表現上の効果にどのような違いがあるかを理解する。</li> </ul>	実技テスト  鑑賞シート  ノート提出 確認テスト  ワークシート
	2 学期	楽器の特徴を生かしたアンサンブルの楽しみ  コードを使いこなそう  郷土の楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>声部の役割を理解し、楽器の音色や奏法の特徴を生かしながら、全体の響きに気をつけてアンサンブルをする。</li> <li>音程・和音の構成を理解し、キーボード・ギターを用いて曲に合った伴奏をつけることができる。</li> <li>郷土の音楽の旋律や、声・楽器の音色の特徴、それらの楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち、音楽に対する理解を深める。</li> </ul>	実技発表  実技発表  実技テスト
	3 学期	プレゼンテーション 「私の好きな音楽と作曲家」  舞台芸術の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して鑑賞し、楽曲の文化的・歴史的背景について理解を深め、それらの価値についてプレゼンテーションをする。</li> <li>バレエの特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらの文化的・歴史的背景や作曲家について理解を深めて鑑賞し、作品のよさや面白さ、価値について考える。</li> </ul>	プレゼンテーション レポート提出  ノート提出

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	1 移動教室のため、遅刻をしないように時間に余裕をもって行動しましょう。 2 自分なりの目標を定めて授業に臨みましょう。 3 楽器やその他の道具は丁寧に扱きましょう。 4 1年次までに身に付けた技能・技術・知識を最大限に生かし、さらに発展させて学習活動に取り組みましょう。
----------------------	---

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。  創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協同的に音楽の諸活動に取り組み、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていくとしている。
評価の方法	上記の3観点を中心に、各学期の評価は、実技試験・レポート提出、作品発表、確認テスト（授業の中で行う）、学習活動への参加状況を総合的に判断して行う。定期考査は行わない。		